

「婦人科液状化細胞診」検査受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望に幅広くお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

- 婦人科液状化細胞診

検査要項

項目コード No.	269
対象材料	婦人科材料(子宮腔部、子宮頸部)
使用依頼書	細胞診検査依頼書
提出容器	容器番号 142 プレザーブサイト液(シンプレップ容器)
採取器具	HOLGIC サーベックスブラシ
検査方法	LBC法(Liquid Based Cytology 法)
保存方法	室温
報告形式	クラス分類とベセスダ分類併記
報告日数	3~6日
保険点数	150点
病理判断料	150点

※ 提出容器(No.142)および採取器具は有料となります。

受託開始日

- 平成 25年9月17日(火) 受付分より

※裏面をご覧ください

《提出時のご注意》

- ・婦人科LBCのご依頼には必ず専用容器でご提出ください。
- ・専用容器には、必ず患者様名をご記入ください。
- ・子宮内膜検体は従来法(塗抹標本)でご提出ください。

《 採取容器 ・ ブラシの使用法 》

<p>専用容器・採取器具</p>	<p>婦人科プレザーブサイト液(シンプレップ容器)とサーベックスブラシをご使用ください。</p>  <p>※採取容器と採取ブラシは検査料に含まれていません。 ご注文の際には、「プレザーブサイト液」と「サーベックスブラシ」をそれぞれご注文ください。詳しくは弊社営業担当者にお問い合わせください。</p>
<p>細胞採取の手順</p>	 <p>血液や過剰な粘液をガーゼや綿棒で予め除去し細胞を採取する。 (右に5回転)</p> <p>ブラシの毛先が広がるように押し付け、細胞を洗い落とす。</p> <p>目印のラインまでしっかり蓋をしめて提出ください。</p>

現在、婦人科細胞診は塗抹標本が主に実施されていますが、近年、専用の細胞保存液入り容器を使用したLBC法が普及してきました。LBC法の特徴は従来法に比べ細胞保存に優れていること、採取された細胞から作製される標本の均一化が可能となること等があります。

同一検体容器でHPV核酸検出(項目コード 3527)も実施可能です。